



平成22年6月17日

9歳男児が天窓から墜落する事故が発生

～過去5年間で12歳以下の子ども18人が墜落～

先般、東京消防庁管内で、9歳の男児がマンションの1階部分に設置されている連絡通路の屋根に上がったボールを取ろうとして、連絡通路の屋根の天窓（網入りガラス）に乗ったところ、ガラスが割れ、約4メートル下に墜落した事故が発生しました。

平成17年4月から平成22年4月末までに、天窓・ガラス屋根からの墜落などにより、12歳以下の子ども18人が医療機関に救急搬送されています。

このため、東京消防庁では、関係する機関や団体に事故の発生状況を通知して、同種事故の絶無に向けた働きかけを行っていきます。

- 1 初診時程度別では、「中等症」（入院を要するもの）以上が13人で、天窓等からの墜落事故の約72%を占めています。
- 2 発生場所別では、「マンション・アパート」の天窓等からの墜落事故が最も多く、13人で、天窓等からの墜落事故の約72%を占めています。
- 3 年齢別では、8歳から11歳までが13人で、天窓等からの墜落事故の約72%を占めています。

詳細は、添付資料をご覧ください。

問い合わせ先

東京消防庁（代） 電話 3212 - 2111
生活安全課生活安全係 内線 4206
広報課報道係 内線 2345～2349